

「国は認可するな」の 署名をはじめました

急いでもす!!
ご協力をお願いします



岸田首相、斉藤国交大臣に提出する署名です

臨時府議会で維新・公明など

「カジノの是非決める」住民投票否決!

「カジノの是非は府民が決める!」と「住民投票」の実施を求める署名が、法定数を大きく上回る21万筆を超え大阪府に提出されましたが、カジノ誘致に固執する維新・公明は、府議会で否決しました。

府民に事実知らせず、議会だけで決めて国に申請

カジノ計画は、中身がほとんど知らされないまま、3月の議会で決定し、大阪府と市は国に申請しました。国への申請には「住民合意」が前提ですが、府民が中身を知らないのに「合意」なんてありません。しかも、3月の議会前の住民説明会や公聴会ではほとんどが反対意見、パブリックコメントでは99.7%が反対意見でした。だから、事実を知った府民が怒り、「府民の意見を聞いて!」と運動するのは当然です。

府民の声に追い込まれ、慎重審議を拒み、たった半日で否決

府民の声に追い込まれた吉村知事は、署名が提出されるとすぐに臨時府議会(7月29日)を招集。慎重審議を拒み、たった半日で、維新・公明・自民の議員の反対で否決しました。自民は「住民投票」は必要だと主張し修正案(在日外国人の投票権を排除)を提出しました。21万人もの大阪府民の声が力になりました。

府民代表に

「早よ出ていけ」と維新議員

採決前、条例制定運動の代表6名の意見陳述が終わると維新議員が「暴言」

世界の変化に立ち遅れた大阪IR・カジノ計画!?

コロナ禍で世界の状況は大きく変化しました。カジノ誘致計画は、世界の状況の変化があり2019年の地方選挙の時とは次の点で大きく変貌しています。



「カジノには一円の税金も使わない」との公約から、790億円の公金投入へ



日本人のカジノ入場者予測が年間430万人から2.5倍の1,067万人に増え、「日本人がターゲット」だと明確になる



署名にご協力をお願いします



署名用紙は
コチラから